

2014年(平成26年)3月9日(日曜日)

自民県連、女性議員の意見交換会

記者席ノート

◇…自民党の「女性力拡大グループ」のメンバーとして、女性政策の立案に携わる大沼瑞穂参院議員(県選挙区)を招いた同党県連の女性局所属議員意見交換会が8日、山形市の県連会館で開かれ、県内の女性を取り巻く課題について意見交換した。写真。

地方の声を国政に反映させようと開いたもので、大内理加県議や市町議7人が参加。就労や子育て、生き方などについて、活発に意見交換した。

参加者は「独身でキャリアを積む人やシングルマザーなど、女性のライフスタイルが多様化している。こうした生き方を尊重できる社会にしていくことが大事」「出産イコール



退社という考えが根強い。経営者の意識改革が必要」などと発表。大沼氏はグループ内での検討状況などを紹介しながら、県内の課題を把握していた。

2014年(平成26年)3月9日(日曜日)

自民県連、女性議員の意見交換会

記者席ノート

◇…自民党の「女性力拡大グループ」のメンバーとして、女性政策の立案に携わる大沼瑞穂参院議員(県選挙区)を招いた同党県連の女性局所属議員意見交換会が8日、山形市の県連会館で開かれ、県内の女性を取り巻く課題について意見交換した。写真。

地方の声を国政に反映させようと開いたもので、大内理加県議や市町議7人が参加。就労や子育て、生き方などについて、活発に意見交換した。

参加者は「独身でキャリアを積む人やシングルマザーなど、女性のライフスタイルが多様化している。こうした生き方を尊重できる社会にしていくことが大事」「出産イコール



退社という考えが根強い。経営者の意識改革が必要」などと発表。大沼氏はグループ内での検討状況などを紹介しながら、県内の課題を把握していた。